

第五期赤井川村総合計画

自然とともに暮らし、  
人とつながり、  
美しく穏やかな村

前期基本計画

概要版

令和8年3月  
赤井川村



## 計画の位置付けと役割

### 第五期赤井川村総合計画体系図

#### 基本構想

##### 将来像とむらづくり

##### 基本方向を示す最上位計画

- ・人口減少・少子高齢化を踏まえた将来像
- ・赤井川村らしさ（自然・地域特性）を明確化

計画期間：10年

#### 基本計画

##### 基本構想を実現するための 施策方針を整理

- ・分野別の施策体系と重点取組
- ・人口ビジョン・総合戦略と一体的に整理

計画期間：5年（総合戦略と一体）

#### 実施計画

##### 【実施計画】

施策を実行するための事業・予算計画

#### 総合戦略の考え方

##### ①人口減少・少子高齢化への対応

人口減少の進行を前提に、地域の持続性を確保するための取組を重点的に整理

##### ②赤井川村の地域特性・資源を活かした戦略

自然環境・農業・観光などの強みを活かし、暮らし・産業・交流を一体的に捉えた取組を推進

##### ③国の方針（地方創生2.0等）との整合

国・北海道の地方創生関連方針を踏まえ、施策展開や制度活用と連動した戦略として整理

## 計画の構成と期間

項目	位置づけ・役割	計画期間	対象年度
基本構想	将来像およびむらづくりの基本方向を示す最上位指針	10年	令和8～令和17年度
基本計画	基本構想を実現するための分野別施策・重点項目を整理	5年	令和8～令和12年度
総合戦略	人口減少対策に関する重点戦略を整理（基本計画と一体）	5年	令和8～令和12年度
実施計画	施策を具体化する事業・予算・進捗管理計画	3年	各年度（ローリング）

## 赤井川村の地域資源（強み）と向き合うべき構造課題

### 赤井川村の地域資源（強み）

#### ① 農村風景、気候・気象現象が形成する赤井川村らしさ

赤井川村はカルデラ盆地の美しい農村風景と災害の少なさが強みです。また、「日本で最も美しい村」連合に設立当初から加盟しています。この自然資源を農業・観光・教育等の基盤として守り活かすむらづくりが、地域の潜在力を最大限に発揮します。

#### ② 小規模ゆえのコミュニティの近さと安心感

赤井川村は人口規模が小さく、村民同士の距離が近いことから、日常生活において自然な見守りが生まれています。こうした関係性がこどもから高齢者まで安心して暮らすための土台となり、地域の生活文化として根づいています。

#### ③ 都市近郊でありながら自然と共存できる地理的メリット

赤井川村は札幌圏に隣接し、都市へのアクセスと豊かな自然環境を両立する希少な地域です。この利便性は住民の満足度を高め、移住者や関係人口を呼び込む大きな強みとなっています。

### 向き合うべき構造課題

#### 課題①

人口減少と  
若い世代の流出

#### 課題②

産業の担い手不足と  
地域経済の弱さ

#### 課題③

交通・住まい・医療など  
生活基盤の脆弱性

### 目指す将来像

自然とともに暮らし、人とつながり、  
美しく穏やかな村

自然・農村風景を「基盤資本」として守り活かしながら、顔の見える関係性や見守りといった小規模ゆえの強みを大切に、交通・医療・住まい・買い物などの生活基盤を向上させることで、住み続けたくなるむらづくりを進めます。あわせて、農業・観光・教育等を結びつけた取り組みにより交流や関わりを広げ、赤井川村らしい暮らしの質を高めていくことを目指し、「自然とともに暮らし、人とつながり、美しく穏やかな村」を将来像として掲げます。

# 将来像実現のための計画の体系

## 第五期赤井川村総合計画の構成

### 強み・課題

- 【強み】**
  - 農村風景、気候、気象現象が形成する赤井川村らしさ
  - 小規模ゆえのコミュニティの近さと安心感
  - 都市近郊でありながら自然と共存できる地理的メリット
- 【課題】**
  - 人口減少と若い世代の流出
  - 産業の担い手不足と地域経済の弱さ
  - 交通・住まい・医療など生活基盤の脆弱性

### 将来像

自然とともに暮らし、人とつながり、  
美しく穏やかな村

赤井川村人口ビジョン 目標（日本人）人口：950人程度

### 将来像実現のための計画体系（前期基本計画）

政策の柱 1	政策の柱 2	政策の柱 3	政策の柱 4	政策を進める上での 指針に基づく 行政運営
人のつながりを広げ、 価値を育む	穏やかでやさしい あかいがわの暮らし	未来と世界が 広がる教育	美しい風景を 守る、活かす	
1-1 農林業 1-2 観光業 1-3 商工業・新産業 1-4 ふるさと納税・ つながり強化 1-5 移住・定住	2-1 コミュニティ 2-2 健康・予防 2-3 地域福祉・共助 2-4 こども・子育て 2-5 高齢者福祉・介護 2-6 障がい・共生社会 2-7 医療保険・年金・ 生活保障 2-8 消防・防災 2-9 防犯・交通安全 2-10 男女共同参画	3-1 学校教育 3-2 社会教育 3-3 スポーツ 3-4 文化芸術 3-5 国際交流・国際化	4-1 環境保全・景観 4-2 エネルギー 4-3 循環型社会 4-4 上・下水道 4-5 土地利用 4-6 道路・公共交通	5-1 行政のDX推進 5-2 財政基盤の強化と 効率的運営 5-3 広域行政と行政改 革の推進 5-4 広報・住民サービ ス向上

### 赤井川村総合戦略

#### 重点戦略 1

情報環境の整備、デジタル化による効率的な行政運営の実現

#### 重点戦略 2

若い世代が学び・働き・暮らし続ける環境づくり

#### 重点戦略 3

自然資源の活用とGX推進による持続可能な地域づくり

#### 重点戦略 4

デジタル活用による暮らしと行政サービスの革新

#### 重点戦略 5

広域連携・官民学連携による村の外に広がる力の創出

### 政策の柱 1

## 人のつながりを広げ、価値を育む

本村の特性を鑑みると規模の経済よりも、小さいながらも高付加価値を追求し、その魅力を経済につなげていくことが求められます。

農業に加え、赤井川村を訪れる観光客や札幌・小樽圏からの交流客、さらには関係人口の広がりによって、経済・働き手・ライトファン層を厚くしていくことが重要です。そのためにも、①地域の魅力を磨き育てること、②それを戦略的に発信していくことが、今後強化すべき大きなポイントとなります。

#### 1. 農林業

- 農業生産基盤の充実（基盤）
- 強い農業づくりの推進（発展）
- 後継者・新規就農者対策（未来志向）
- 森林管理・地域材の利用促進

#### 2. 観光業

- 観光認知度・広域連携の向上
- 観光消費の拡大と地域循環

#### 3. 商工業・新産業

- 小さなチャレンジの促進
- 商工業の基盤強化と経営安定化の支援

#### 4. ふるさと納税・つながり強化

- ふるさと納税の拡充と活用

#### 5. 移住・定住

- 移住・定住の促進



## 政策の柱 2

### 穏やかでやさしいあかがわの暮らし

地域住民が穏やかに暮らせる環境を作り、さまざまなバックグラウンドを持つ村民同士が互いに理解し合える機会を増やすことを目指します。コミュニティ活動の支援や健康・福祉の充実を進め、誰もが安心して暮らせる地域社会を実現します。

また、高齢者や子育て世代、障がい者に対する支援体制を強化し、村民同士が支え合う地域共生型社会を目指します。

#### 1. コミュニティ

- コミュニティ活動と団体支援の強化
- コミュニティ施設の維持・管理
- 多様な分野での参画・協働の推進

#### 2. 健康・予防

- 生活習慣病予防の推進
- 感染症予防と予防接種の推進
- こころの健康づくり
- 歯と口腔の健康づくり
- 地域医療体制の持続

#### 3. 地域福祉・共助

- 地域福祉推進のための環境づくり
- 情報提供と相談体制の充実

#### 4. こども・子育て

- 母子保健の充実と切れ目ない子育て支援
- こどもと家庭のウェルビーイングを支える環境づくり
- 多様なこどもを支える体制の整備
- こどもの健やかな育成と生活環境整備

#### 5. 高齢者福祉・介護

- 高齢者の生活支援と介護サービスの充実

#### 6. 障がい・共生社会

- 障がい者福祉の充実

#### 7. 医療保険・年金・生活保障

- 医療保険制度の健全運営
- 年金制度の周知

#### 8. 消防・防災

- 消防・救急体制と防災力の強化

#### 9. 防犯・交通安全

- 防犯・交通安全の推進

#### 10. 男女共同参画

- 男女共同参画の推進



## 政策の柱 3

### 未来と世界が広がる教育

地域に根ざした学びを通じて、こどもたちが地元へ愛着を持ち、豊かな思い出を作ることを目指します。地域の伝統や歴史を学びながら、新しい環境でも自慢できるような誇りを持つ人材を育て、いつか地元に戻って貢献したいと感じるような教育環境を提供します。

さらに、スポーツや文化芸術活動を通じて、地域社会とのつながりを深め、国際的な視野を広げるために、外国語教育や国際交流も推進します。

#### 1. 学校教育

- 就学前からの学びの基盤づくり
- 学校教育の充実と地域に根差した学び

#### 2. 社会教育

- 生涯にわたる学びと地域教育力の向上

#### 3. スポーツ

- スポーツと健康づくりの推進

#### 4. 文化芸術

- 文化芸術・歴史・伝統の継承と支援

#### 5. 国際交流・国際化

- 国際性と未来を切り拓く人材育成



## 政策の柱 4

### 美しい風景を守る、活かす

美しい風景を未来へと繋げるため、環境保全・負荷軽減・景観づくり活動を積極的に進めます。

また、地域の魅力を引き出す観光資源として活用することや、環境や景観に配慮した再生可能エネルギーの導入により、村の持続性を高め、村の風景や景観を次世代に伝えていきます。

さらに、美しい風景の中で安心して暮らすことのできるライフラインの維持・向上に努めます。

#### 1. 環境保全・景観

- 環境保全と美しい景観の維持

#### 2. エネルギー

- 再生可能エネルギーの導入と地域ブランド化

#### 3. 循環型社会

- 循環型社会の推進とゴミ処理体制の充実
- 火葬場の適正管理

#### 4. 上・下水道

- 安全で持続可能な上下水道の確保

#### 5. 土地利用

- 土地利用、地域開発の推進

#### 6. 道路・公共交通

- 高速道路・国道・道道・村道整備
- 公共交通体制の維持

### 政策を進める上での指針に基づく行政運営

#### 1. 行政の DX 推進

#### 2. 財政基盤の強化と効率的運営

#### 3. 広域行政と行政改革の推進

#### 4. 広報・住民サービス向上

#### 第五期赤井川村総合計画

### 自然とともに暮らし、人とつながり、美しく穏やかな村

#### 前期基本計画

#### 概要版

発行／令和8年3月

北海道赤井川村

〒046-0592 北海道余市郡赤井川村字赤井川74番地2

TEL：0135-34-6211 FAX：0135-34-6644